学習目標:主に接続詞 that 等に続く名詞節と主節との間で、主節の動詞が過去形である時、従属節(that 節等)の動詞を過去の時点を基点として対応させる事を時制の一致という。何の事かわかんないね!

I think that she is asleep. 「私は、彼女は眠っていると思う。」

I thought that she was asleep. 「私は、彼女は眠っている<mark>と思った</mark>。」 think が thought に変わると is が was に変わる。これが時制の一致の基本である。

何の事か少しはわかったね!



時制の一致 1-1

次の英文の、主節の動詞を過去形にし時制の一致を行い、できた英文を和訳しなさい。

- 1. He knows that I love her. * 従節(that 以下)の動詞現在形は過去形に
- 2. I think that you are honest.
- 3. Do you believe that I am wrong?
- 4. She says that she is very happy.
- 5. I don't understand what he is saying. *現在進行形だって同じ。過去進行形にすれば良い!
- **6. I think that he did it.** *従節の動詞が過去形だ!どうする?過去完了にしちまえっ!
- 7. It seems that he bought the car. * そう、従節の動詞が過去形の時はそれより古い過去完了に
- 8. Do you know that they got married?
- 9. He says that he was busy with his work.
- **10.** I think he has been here. *げっ!現在完了っじゃん!どうする?これも過去完了ってか!
- 11. I wonder if she has ever read the book. *そう、従節の動詞が現在完了なら過去完了に
- 12. He knows she has been sick.

基本的に主節の動詞が過去になったら従節の動詞をそれより古い時制にずらせばよい。従節が過去完了の場合はそれ以上古くできないからそのまま過去完了である。基本的にこんなふうに頭に入れておく。ただし、ちゃんと例外は用意されている。又のお楽しみ・・・。

氏 名…	実施日・・・
正解率・・・	指令・・・



時制の一致1-1

解答

次の英文の、主節の動詞を過去形にし時制の一致を行い、できた英文を和訳しなさい。

1. He knew that I loved her.

彼は私が彼女を愛している事を知っていた。

2. I thought that you were honest.

わてはあんはん正直や思うた。

3. Did you believe that I was wrong?

あなたは私が間違っていると信じましたか。

4. She said that she was very happy.

彼女はとても幸せだといいました。

5. I didn't understand what he was saying.

私は彼が言っている事がわからなかった。

6. I thought that he had done it.

私は彼がそれをしたと思った。

7. It seemed that he had bought the car.

彼はその車を買ったそうだった。

8. Did you know that they had got married?

あなたは彼らが結婚したのを知っていましたか。

9. He said that he had been busy with his work.

彼は仕事で忙しかったと言いました。

10. I thought he had been here.

私は彼はここにいたと思った。

11. I wondered if she had ever read the book.

私は彼女はこの本を読んだことがあるかしらと思った。

12. He knew she had been sick.

彼は彼女が病気だった事を知っていた。

訳し方の注意・・・主節の動詞が過去で従節の動詞も過去の時(現在完了が過去完了に変わった場合もある)は、従節を現在形の様に訳すようにしないといけない。そして主節の動詞が現在で従節が過去、主節が過去で従節が過去完了の時は従節を過去形の様に訳す。なぜか?頭の中にその状況を思い浮かべてよーく考えよ!